

事業の背景・目的

岡山県南部と広島県福山市に生息する国内希少野生動植物種スイゲンゼニタナゴの分布状況は、正確な情報が得られていないのが現状である。令和4年度は、前年度に引き続き、スイゲンゼニタナゴの最新の分布状況を把握するとともに、本種に悪影響を与えると考えられる外来種を捕獲・駆除することを目的として事業を実施した。また、スイゲンゼニタナゴの普及啓発およびモニタリング体制の構築を目的とし、ワークショップを実施した。

事業の内容

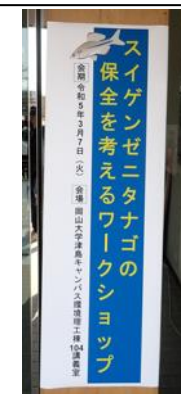
事業① 外来種の駆除

岡山県南部および広島県福山市において、スイゲンゼニタナゴに悪影響を与えると考えられる外来種を捕獲・駆除した。



事業② ワークショップの開催

2023年3月7日に、岡山大学において「スイゲンゼニタナゴの保全を考えるワークショップ」を対面で開催した。外部講師を招聘し、基調講演5題、講演4題、計9題の講演を行った。また、参加者と演者とで、総合討論を行った。



得られた成果

- スイゲンゼニタナゴに悪影響を与える可能性のある外来魚およびアメリカザリガニについて、本年度の事業全体を通じて、計1,288個体の駆除を行った。
- 「スイゲンゼニタナゴの保全を考えるワークショップ」では、研究者・行政関係者・保全団体・地域住民・学生の参加があり、スイゲンゼニタナゴのモニタリング体制づくりのためのネットワークを構築した。

